

野々市市が民間に無償で貸し付けた市郷土資料館が、改装を終えて2日、リニューアルオープンした。「N」

郷土資料館が装い一新

野々市で初、文化財管理を民間委託



新たに披露された市郷土資料館のロゴ

—野々市市本町3丁目

「ONo」（のの）の愛称が加わり、「の」を重ねて渦巻きをイメージしたロゴも披露された。

市文化財となっている建物の管理運営を民間委託する初めてのケースで、中央設計技術研究所（金沢市）が応募した。式典で西原秀幸社長は「地域のために貢献したい」と決意を述べ、栗貴章市長もあいさつの中で期待を寄せた。

カフェで手打ちそばやランチが味わえる。テーブル

では格子窓越しに旧北國街道の風景を楽しめる。

土蔵で野々市の今昔をVR（仮想現実）で体感できる設備の導入や、研修にも使える多目的ルームの開放も計画している。